

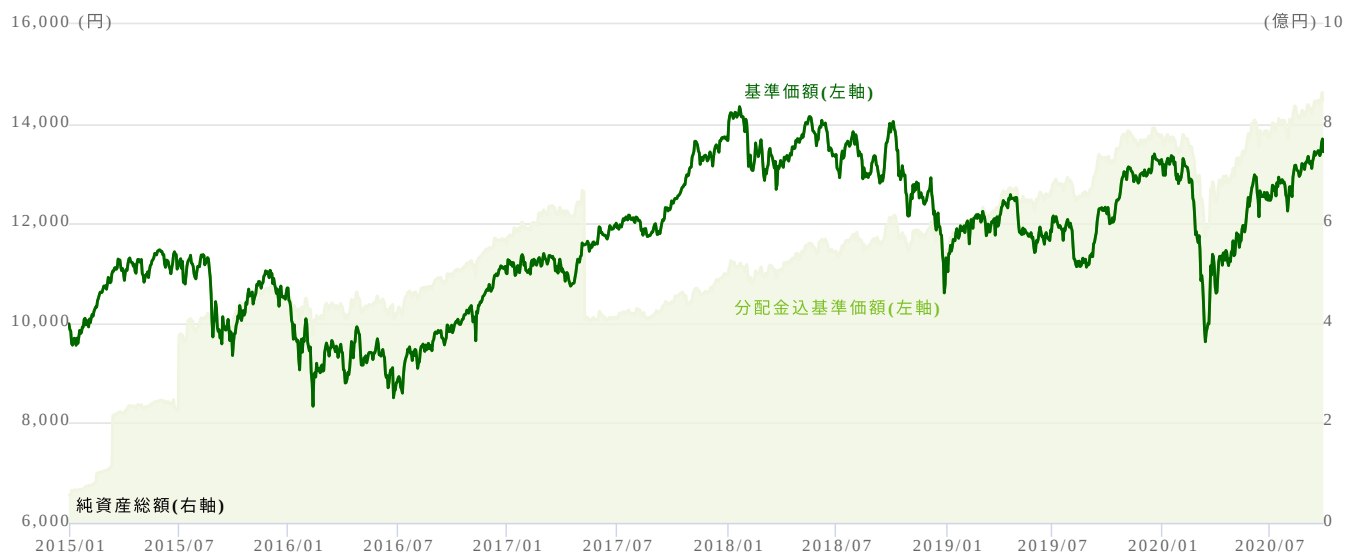
コモンズ30+しずぎんファンド

追加型投信 / 内外 / 株式



基準価額の推移

2014年12月29日 ~ 2020年9月30日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理费用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



運用実績

2020年9月30日時点

基準価額

13,441 円

(前月末比)

+220 円 (1.66%)

純資産総額

8.4 億円

(前月末比)

+0.2 億円 (3.04%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	1.66%
3ヵ月	6.97%
6ヵ月	20.68%
1年	10.23%
3年	8.22%
5年	39.89%
10年	-
設定来	34.41%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2015年12月	0円
2016年12月	0円
2017年12月	0円
2018年12月	0円
2019年12月	0円
設定来合計	0円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの構成比

種別	比率
コモンズ30ファンドマザー	91.7
静岡銀行株式	7.2
現金等・その他	1.1
構成銘柄数	33社

※2020年9月30日時点



ポートフォリオの状況

業種別比率

機械	21.1%
化学	17.9%
電気機器	13.7%
サービス業	12.0%
輸送用機器	6.0%
陸運業	4.1%
医薬品	3.8%
食料品	3.7%
金属製品	3.7%
小売業	3.5%
卸売業	3.3%
建設業	3.0%
繊維製品	1.1%
情報・通信業	0.2%
その他	3.0%

未来コンセプト別比率

生活ソリューション	15.4%
精密テクノロジー	15.1%
ウェルネス	14.5%
新素材	12.8%
快適空間	11.1%
ライフサイクル	7.1%
資源・エネルギー	6.3%
未来移動体	6.0%
地球開発	5.7%
社会インフラ	3.1%
その他	3.0%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 ヤマトHD	生活ソリューション	「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ	4.1%
2 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	4.0%
3 カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	4.0%
4 ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku, 世界を代表する精密加工装置メーカー	4.0%
5 SMC	精密テクノロジー	工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップ	3.9%
6 ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.9%
7 マキタ	快適空間	環境、安全、安心に優れ、世界のプロに選ばれる	3.8%
8 エーザイ	ウェルネス	患者家族まで心を配る徹底したステークホルダー経営	3.8%
9 味の素	ウェルネス	「食・健康・いのち」の“UMAMI”で世界の食品トップ10を狙う	3.7%
10 リンナイ	快適空間	「熱」を通じて「快適な暮らし」を提供	3.7%

※2020年9月30日時点

※「ポートフォリオ別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。

※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

9月のファンドの月間リターンは+1.66%の上昇となりました。

◎運用責任者メッセージ（コモンズ30マザーファンドについての記載となります）

9月の内外株式市場は、世界の株式市場をリードしてきた米国ナスダック指数が、月初に史上最高値を更新したものの、その後は10%を超える下落に転じるなど世界的に調整ムードの月となりました。インドや欧州で新型コロナウイルスの感染が再拡大するなど景気に対する不安が高まりました。また、いよいよ米国大統領選挙も日程が迫り、株式市場には不透明感も広がりました。国内株式市場は、安倍前総理の急な退陣を受け菅新政権が誕生しました。安倍路線の継承とともにデジタル化、行政改革に対する期待が高まっています。国内株式市場は、他国に比べても相対的に底堅い展開となり、投資先32銘柄中19銘柄が値上がり、12銘柄が値下がり、変わらずが1銘柄となりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+1.30%、日経平均株価は+0.20%の上昇でした。

当ファンドの株式の組入比率は高位を維持し97.0%となっています。個別銘柄では楽天が楽天モバイルでの5Gサービスの提供と新料金プランを発表したことなどから、月間で+21.33%の上昇となりました。その他、味の素+9.26%、シスメックス+8.35%の上昇となるなど5%を超えて上昇した銘柄が6銘柄に上りました。

さて、先月に続き、今月の投資委員会でも新たにY社を当ファンドに組み入れることを決定し投資を始めました。具体的な社名や投資理由などは他の銘柄と同程度の組入比率になった月のレポートでご説明いたします。しばらくお待ちいただければ幸いです。2ヵ月連続で新しい銘柄も加わった当ファンドをどうぞよろしくお願い申し上げます。

最高運用責任者 伊井 哲朗

投資委員会メンバー

○伊井哲朗、渋谷健、上野武昭、末山仁、原嶋亮介/○は最高運用責任者

組入比率と組入銘柄については、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

9月は新規組入銘柄が1銘柄ありましたが、一定の組入比率に達しましたらご紹介させていただきます。



今月のピック！

◎（4755）楽天

9月の楽天の株価は21.33%と大幅に上昇しました。政府によるイベント開催の制限緩和、GoToトラベルキャンペーンに10月から東京も対象となることに加え、携帯電話の料金引き下げに向けた改革を進める菅首相の誕生、などが株価の刺激材料になりました。これらの政策は、同社のプロ野球球団およびサッカークラブの運営事業、トラベル事業にとって収益改善インパクトが大きいとみられるほか、4月初旬から商用サービスを始めた携帯電話事業への注目度を高めることにつながります。楽天の携帯電話の契約申し込み数は、サービス開始から3か月で100万回線を突破するなど着実に伸びてきています。9月30日からは、5G（次世代通信規格）のサービスも始まりしました。携帯電話料金は現段階では対応エリアの範囲が限られますが、月額2980円と携帯電話大手の半額以下に設定しています。

シニア・アナリスト 上野 武昭

◎（8113）ユニ・チャーム

ユニ・チャームの2020年12月期第2四半期決算は、前年同期比で売上高が4.1%増、コア営業利益が41.1%増となり、順調な進捗を見せています。マスクや除菌ウェットティッシュの店頭での品薄感はいよいよ解消されてきましたが、コロナ禍を経て人々の価値観が変容し、安心・安全な信頼できるブランドの商品を求める意識はより強まっているようです。このため、同社の衛生用品に対するニーズは衰えていないようで、「マスク自体は店頭でもよく見かけerようになったものの、同社の製品はあまり見かけない」、とお感じの方も多いかもかもしれません。この、信頼できるブランドの商品を買い求めるという傾向は、紙おむつや女性用生理用品においても同様で、かつ、中国やアジアを始めとした海外市場においても見られるようですので、同社がこれまで築き上げてきたブランド価値がより大きな強みとなってきています。

アナリスト 原嶋 亮介

◎（6856）堀場製作所

9月は堀場製作所の株価が5.68%下落しました。半導体関連銘柄の軟調な動きの影響を受けたことや、自動車販売台数の回復が依然として緩やかな動きとなっていることなどが嫌気されたようです。

9月2日に足立社長とのリモートでの初めてのミーティングの機会を頂きました。今回のコロナ禍では、マルチ・セグメントが奏功して業績が過度に悪化することを回避できたこと、セグメント間のセクショナリズムを打破すべくセグメントに横串を刺していくことに注力していること、また、自動車セグメントでは新型コロナウイルスの影響によって技術シフトが加速していることなど、大変興味深いお話を伺うことが出来、有意義なミーティングとなりました。

自動車の領域では、今後、ガソリン車などの内燃機関から電動、ハイブリッド、燃料電池などへ徐々にシフトしていくことが想定されていますが、計測機器メーカーである堀場製作所はその流れに対応する準備が十分に出来ているとのことですので、我々はその推移を慎重に見守っていきたいと考えています。

シニア・アナリスト 末山 仁



【第12回コモンズ夏休みこども絵画コンクール終了】

今年も開催しました同コンクール！まずはこちらの動画をご覧ください。
<https://youtu.be/IHK2GnKZTTE>

日本各地の子どもたちが「未来の絵」を描き、コモンズ投信に届けてくれました。

昨年に引き続き民間学童保育のウィズダムアカデミーの子どもたちも参加、また、今年は新たに社会起業家フォーラム登壇者OG であり昨年のコモンズSEEDCap最終候補者でもあった鳥居晴美さんの子供地球基金のワークショップに参加された子どもたちも「未来の絵」にチャレンジしてくれました。

以下同団体のニュースレターにて当日の様子をご覧くださいませ。

* 2020年7月12日 群馬県館林市にてロヒンギヤの子ども達

* 2020年8月7日埼玉県さいたま市・てらこや新都心の子どもたち達

<https://www.kidsearthfund.jp/news/newsletter78/>

そして今回コモンズ投信の社員の投票により目論見書の表紙となるコモンズ賞に選ばれたのはこちらの作品です。

「未来のエレベーター(深海から宇宙まで1本の木がつながる)」

(9歳の作品)。

今年もたくさんの素敵な作品をありがとうございました。

これからもコモンズ投信スタッフ一同、子ども達の未来を信じる力、応援していきます！

マーケティング部 馬越裕子



未来のエレベーター(深海から宇宙まで1本の木がつながる)



ちょっといい話

【DXとSX】

皆さん、こんにちは。

すっかり秋ですね。

さて、9月は安倍前総理の急な退陣を受け菅新政権が誕生しました。安倍路線の継承とその発展が期待されていますが、なかでもデジタル庁の新設はじめデジタル化の加速は大いに期待されています。DX＝デジタル・トランスフォーメーションとは、「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念であるといわれます（出所：Wikipedia）。

この半年、コロナ禍において何が変わりましたか？と経営者の皆さんにお伺いしてきましたが、全員に共通していたのは「デジタル化の加速だけは間違いない、確信している」との回答でした。「10年後に実現すると思っていたが、この1～2年で実現しそうだ」、「3年後の計画がこの3カ月で、全て前倒しで実現しそう」など、製品やサービスによって時間軸は違いますが、数年から10年単位の前倒しが起こっていることは疑う余地がない状況です。オンライン診療、オンライン教育、リモートワークなどいずれもデジタル化の加速が顕著です。デジタル化が人々の生活を物理的にも精神的にも豊かにする時代が到来しつつあるわけです。新しい時代のリーダーとなる企業も出てくることでしょう。

一方で、コロナ禍によって持続可能な社会への意識も高まりました。コロナ禍により人権問題に対する意識が高まり、山火事、水害はじめ気候変動に対する意識も高まり、自然との共生から環境に対する意識が高まっています。まさにSX＝サステナビリティ・トランスフォーメーションの重要性が認識されています。企業は、デジタル・トランスフォーメーションで人々の生活面をサポートし、また、持続可能性を重視した経営戦略を進めていくこともこれまで以上に重要となってきました。

当ファンドは、長期的に企業価値を高めていける企業に投資をしています。投資判断に欠かせない5つの軸（「収益力」、「競争力」、「経営力」、「対話力」、「企業文化」）に、DXとSXも内包されていく中での厳選投資を進めて参ります。8月、9月と1銘柄ずつ、新規組入銘柄が決まり、投資を開始しています。

組入完了後、銘柄のご紹介をする予定です。どうぞ、楽しみに。引き続き、当ファンドにご期待ください。

代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗





販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券 業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	
静銀ティーム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第10号	○			



投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
決算日	原則として毎年12月18日（休業日のときは、翌営業日を決算日とします。）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

- ・本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ・このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先

- コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）03-3221-8730
- ウェブサイト <https://www.common30.jp/>